

令和4年度事業報告

社会福祉法人ゆうゆう会

令和4年度 事業報告

《 総括 》

新型コロナウイルスの蔓延が続く中、感染予防を第一に考え事業の運営を続けた。運営事業所において散発的に新型コロナウイルス感染者が発生したものの、クラスター化する事なく収束させることが出来た。

経営面では、エネルギー価格や物価の高騰による支出が増加したが、介護サービスの収入増により、去年度と比較し法人全体で収支が改善した。ただし、退職者の増加により人件費支出が抑えられた側面があり、今後職員を補充していくにあたり支出の増加が予想される。また昨今の賃上げ情勢を考慮すると、よりいっそう職員の継続的な処遇改善が求められる。職員体制を維持しつつ、一定の収益を確保できるよう、職員の処遇改善・サービス内容の向上を続け、運営強化に努める。

令和4年度目標

1. 感染症予防。

- ・毎月および随時、感染症委員会を開催し、感染対策の実施や情報共有を行った。
- ・法人全体で、職員のフェイスシールド・マスク着用の徹底（食事の時以外）、職員の食事空間の隔離を図った。
- ・利用者・職員において感染者が出たものの、速やかに初動対応を実施する事でクラスター化を防ぐ事が出来た。

2. 介護業務の品質・効率アップ。

- ・各部署、介護・リハビリ機器などハード面の改善を図った。また随時内部研修を実施し、職員の資質向上を図った。

法人運営

1. 理事会

計4回開催（令和4年6月3日、令和4年12月16日、令和5年2月10日、3月16日）

2. 評議員会

計3回開催（令和4年6月20日、令和4年12月28日、令和5年3月29日）

各事業所報告

【本部】

1. 事務局

- ①業務継続計画を作成し、感染症が発生した際も介護サービスが継続できる体制作りをした。
- ②全体会議を毎月開催し、サービスや職場環境の向上を図った。
- ③新型コロナウイルス感染予防を優先したうえで、可能な範囲で地域自治会との交流を図った。

2. 職員の健康管理

健康診断	新入職員採用時健康診断
	定期健康診断 夜勤有り職員5月・10月、夜勤なし職員5月

3. 防災管理・防災計画

- ①備蓄品点検・補充／ひかり苑拠点・町会用共に随時実施。
- ②水害訓練／令和4年9月 荒川・芝川堤防決壊を想定
- ③総合火災避難訓練／令和4年10月 消火器訓練等
- ④夜間火災避難訓練／令和5年3月

4. 建物・設備の老朽化対応

- ①事業計画に沿った維持点検に加え、以下修繕を行った。

令和4年	
5月	特養 エレベーターセンサー交換工事
6月	特養 機械浴槽電動弁交換
12月	給水加圧ポンプ交換工事

【施設部門】

特別養護老人ホーム、ショートステイ

令和4年度 特養稼働率（定員54名）

利用率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	89%	92%	94%	95%	97%	98%	97%	95%	94%	95%	96%	96%	94%

※令和3年度 平均利用率90%

○入退所件数／入所17件、退所13件

○看取り件数／9件

令和4年度 ショートステイ稼働率（定員6名）

利用率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	98%	71%	83%	90%	89%	88%	76%	89%	79%	63%	79%	84%	82%

※令和3年度 平均利用率102%

1. 介護部

- ①特養においては、目標の年間利用率95%は僅かに未達成ながら、前年度比で大幅に改善した。退所者・入院者が少なかった事、ショートステイロングからの入所受け入れを積極的に進めた事が要因。
- ②ショートステイにおいては、目標の年間利用率90%は未達成となった。特養が満床に近い状況が多く、空床利用が減少した事、新型コロナの影響で積極的に利用の受け入れができなかった事、長期利用者が特養入所前に入院されるケースがあり、多くの機会損失を生んでしまった事などが要因。

2. 看護部

- ①利用者のバイタル測定・受診の調整・付き添い等、健康管理に努めた。
- ②褥瘡委員会を定期的開催。褥瘡のある方に褥瘡計画を、ハイリスク者に予防計画を立て、褥瘡の予防・改善に努めた。

《行事等》 ※感染リスクの少ない形式で開催

◎誕生会 毎月1回

○夏祭り ○敬老の日 ○運動会 ○クリスマス会 ○節分

【在宅部門】

1. デイサービス たんぽぽ

令和4年度「たんぽぽ」稼働率（定員25名）

稼働率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	63%	70%	69%	74%	70%	61%	68%	65%	68%	68%	66%	62%	67%

※令和3年度 平均64%

- ①目標の年間利用率70%は未達成。新規利用者が順調に増加しなかった事に加え、新型コロナウイルス発生時に営業休止期間があった事も影響した。
- ②リハビリ器具の新規導入等、ハード面での強化を図った。
- ③SNS等による発信など、広報の強化を継続した。

《行事等》※感染リスクの少ない形式で開催

◎誕生日会 毎月1回

○お花見 ○母の日 ○父の日 ○七夕 ○夏祭り ○敬老会 ○運動会

○クリスマス会 ○忘年会 ○新年会 ○初詣 ○節分

2. デイサービス 桜さんちの家

令和4年度「桜さんちの家」稼働率（定員17名）

稼働率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	88%	73%	82%	78%	75%	82%	73%	75%	74%	72%	69%	59%	75%

※令和3年度 平均81%

- ①目標の年間利用率70%は達成した。新型コロナウイルス発生に伴う営業休止期間があったものの、新規利用者や利用回数増などにより年間を通じた稼働率は維持できた。
- ②滑車を使った上肢運動など、リハビリ面の強化を図った。
- ③運営推進会議開催

令和4年3月11日・令和4年9月16日（共に新型コロナ感染予防の為、書面開催）

《行事等》※感染リスクの少ない形式で開催

◎誕生日会 毎月1回

○母の日のお祝い ○父の日のお祝い ○夏祭り ○敬老のお祝い ○運動会

○クリスマス会 ○初詣 ○お花見 ○敬老会 ○節分

3. 居宅介護支援事業所ひかり苑

令和4年度「居宅介護支援事業所ひかり苑」請求件数

請求件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	66	63	67	62	70	61	61	60	61	72	75	69	65件

※令和3年度 平均71件

- ①職員の入れ替わりがあり、その過程で請求件数が減少した。
- ②引き続き、要支援者から看取りケースとなる重度要介護者まで、その人らしい自立した生活が継続できるよう支援した。
- ③ケアマネージャーを3人に増やし、より一層、地域の介護ニーズを受け入れられる体制を構築した。